

### 5-3. サンドリサイクル効果分析

#### 5-3-1. 天神川右岸地区（天神川河口右岸～橋津川左岸）

##### （1）汀線変化分析

天神川右岸地区では、継続的な測量データが無いいため、平成20年、25年、30年の5年毎の空中写真活用して汀線変化状況を確認した。

- 天神川と橋津川間の汀線は、後退傾向にある。
- 橋津川より東側の汀線は、離岸堤や人工リーフの効果により、汀線が前進・維持されているようすが窺える。

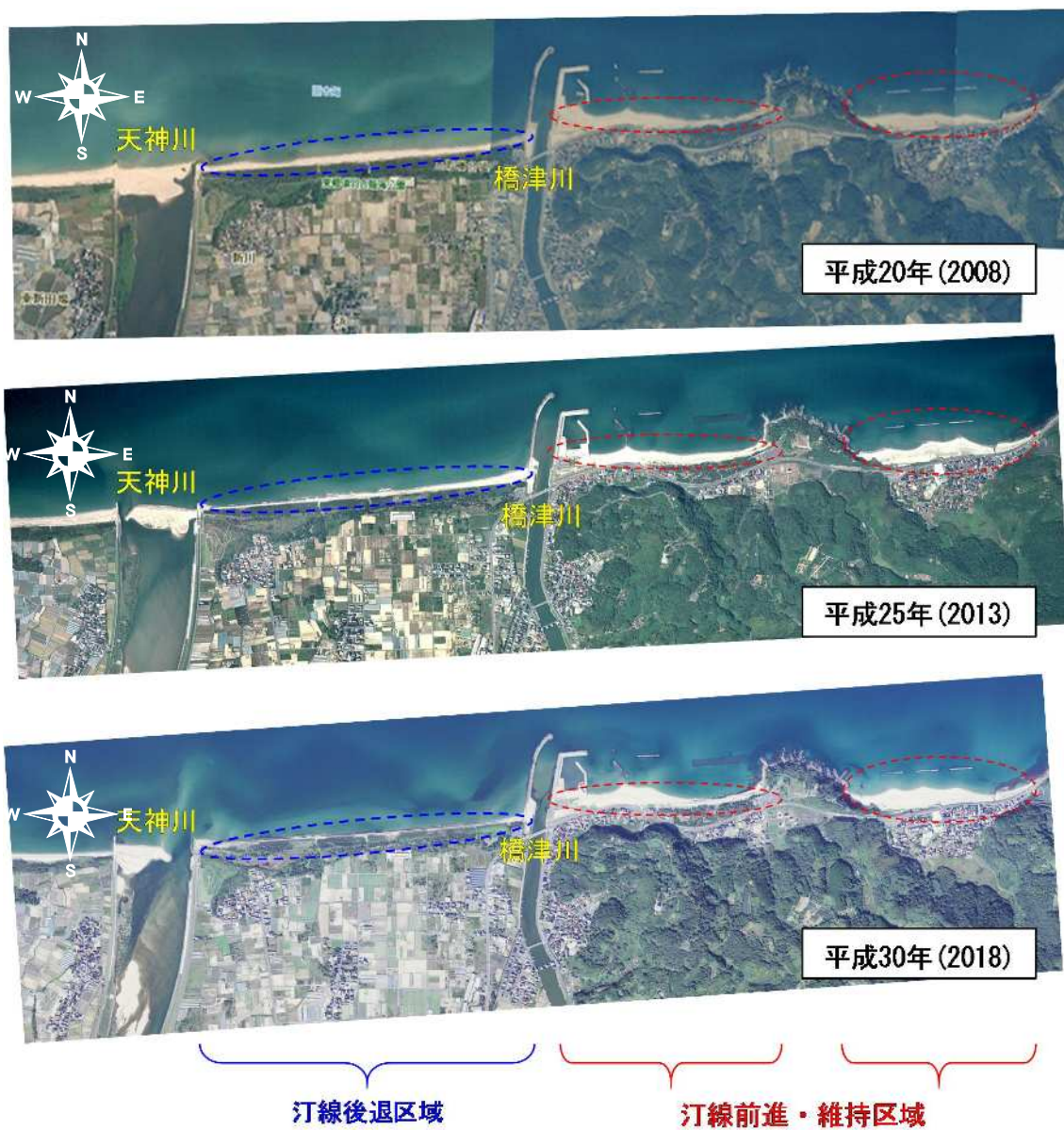


写真 5-5 空中写真による汀線変化の整理

5-3-2. 天神川左岸地区（天神川河口左岸～北条川放水路右岸）

(1) 汀線変化分析

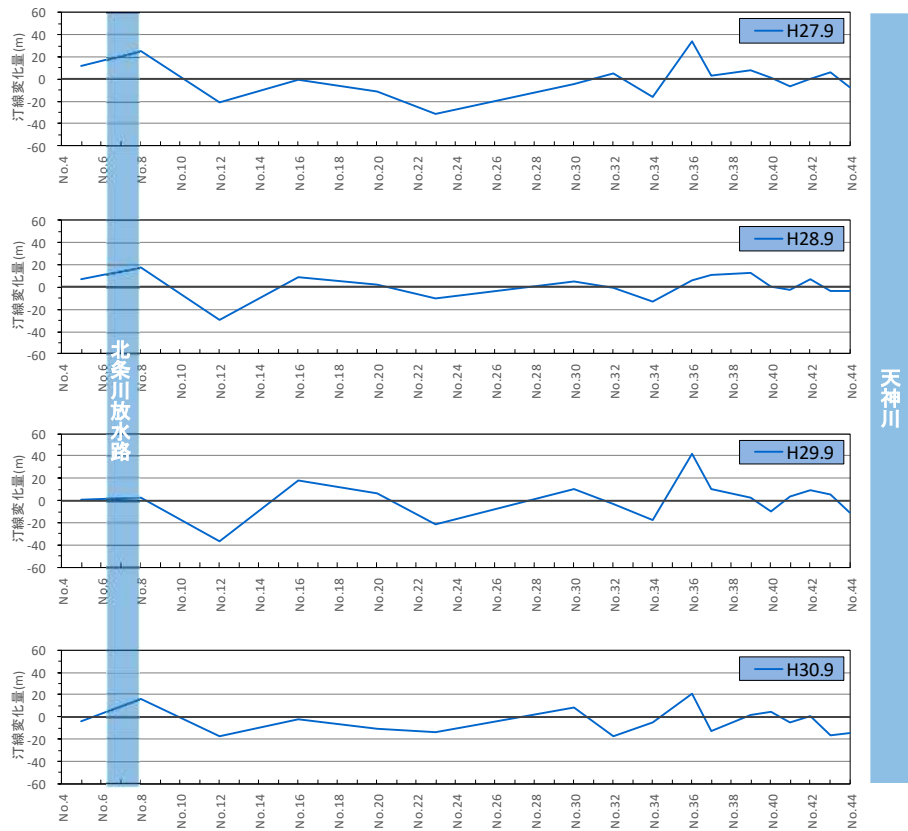
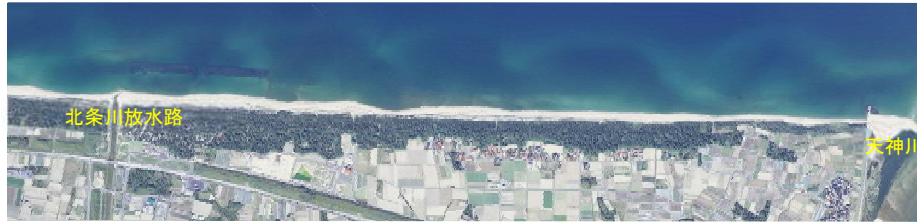


図 5-4 天神川左岸地区の近年の汀線変化図（平成15年9月基準）

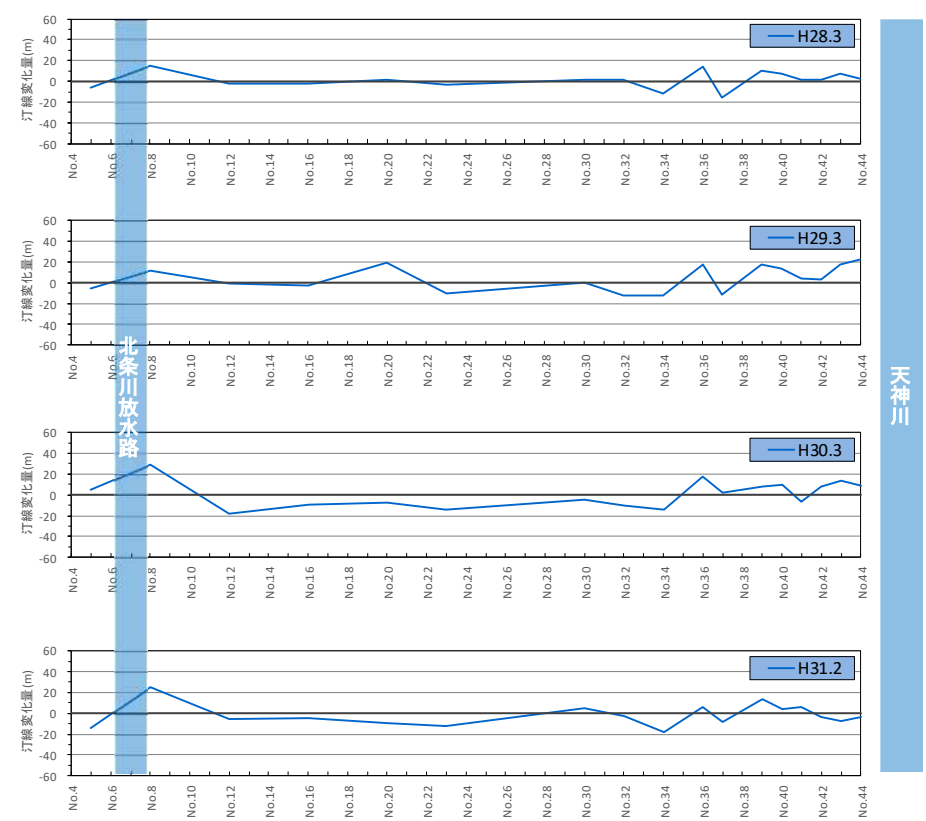


図 5-5 天神川左岸地区の近年の汀線変化図（平成15年3月基準）

- 天神川左岸の導流堤基部の汀線変化は、夏季に後退し、冬季に堆積する傾向を示すことから、夏季には西向き、冬季には東向きの沿岸漂砂が卓越していると思われる。
- 空間的に汀線変動はあるものの、全体としては侵食・堆積傾向はみられず、平衡状態に近い海岸であると考えられる。

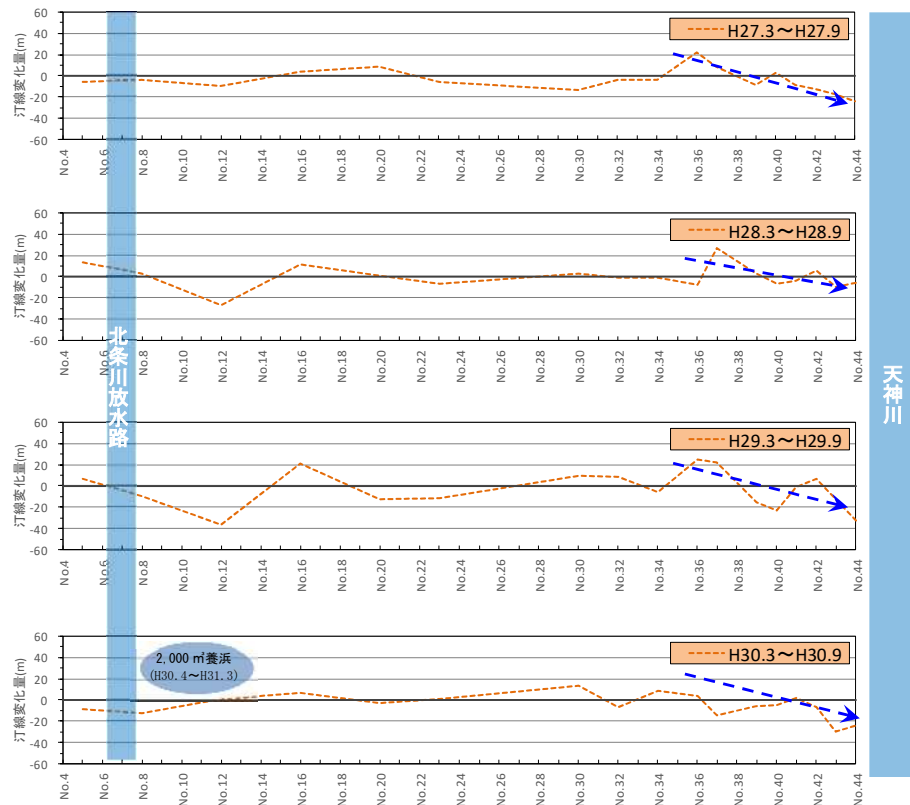
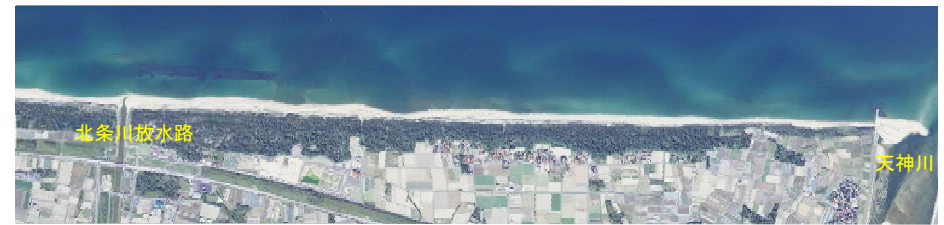
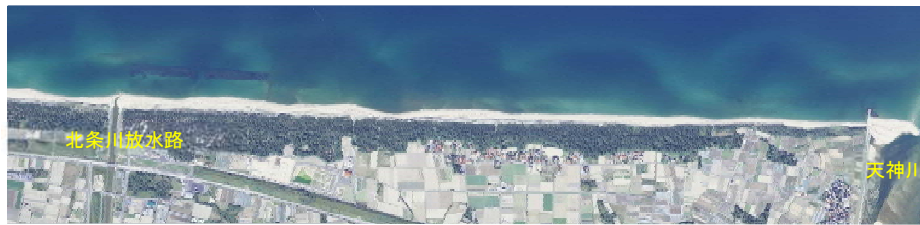


図 5-6 天神川左岸地区の近年の汀線変化図（春から秋の変化量：1年毎）

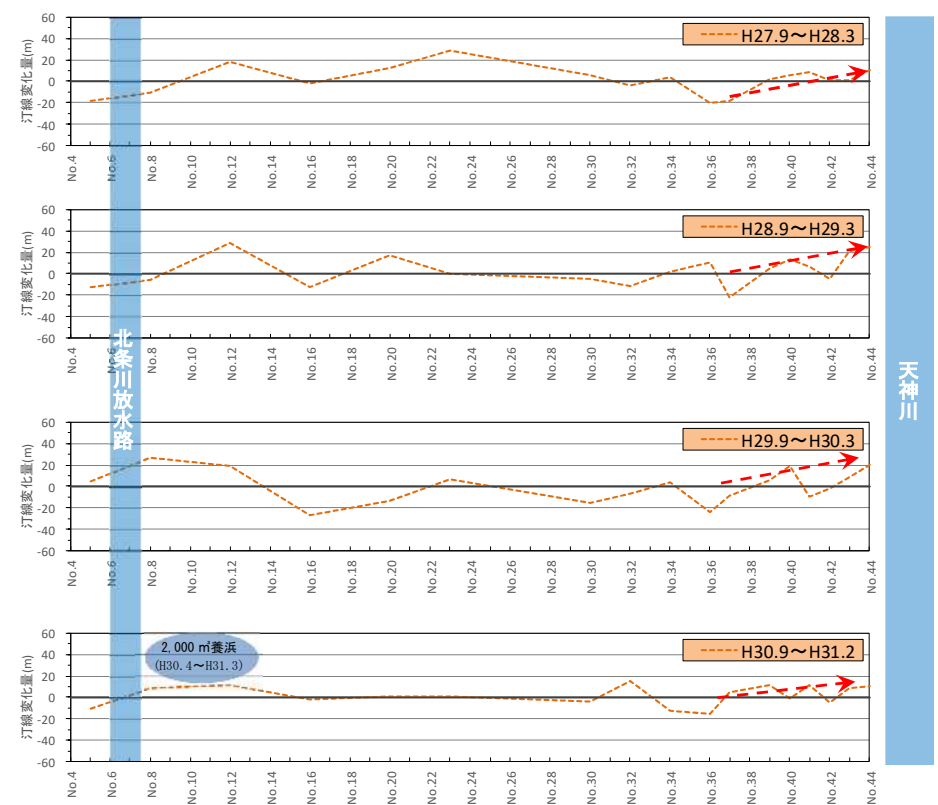


図 5-7 天神川左岸地区の近年の汀線変化図（秋から春の変化量：1年毎）

## (2) 浜幅分析

- 天神川左岸の導流堤基部は汀線変化の季節変動の影響により一時的に防護浜幅を満足しないことがある。
- 北条川の左岸で一部防護浜幅を満足していないが、植生が海側に張り出しており、波のうちあげ高はさほど大きくないと思われる。

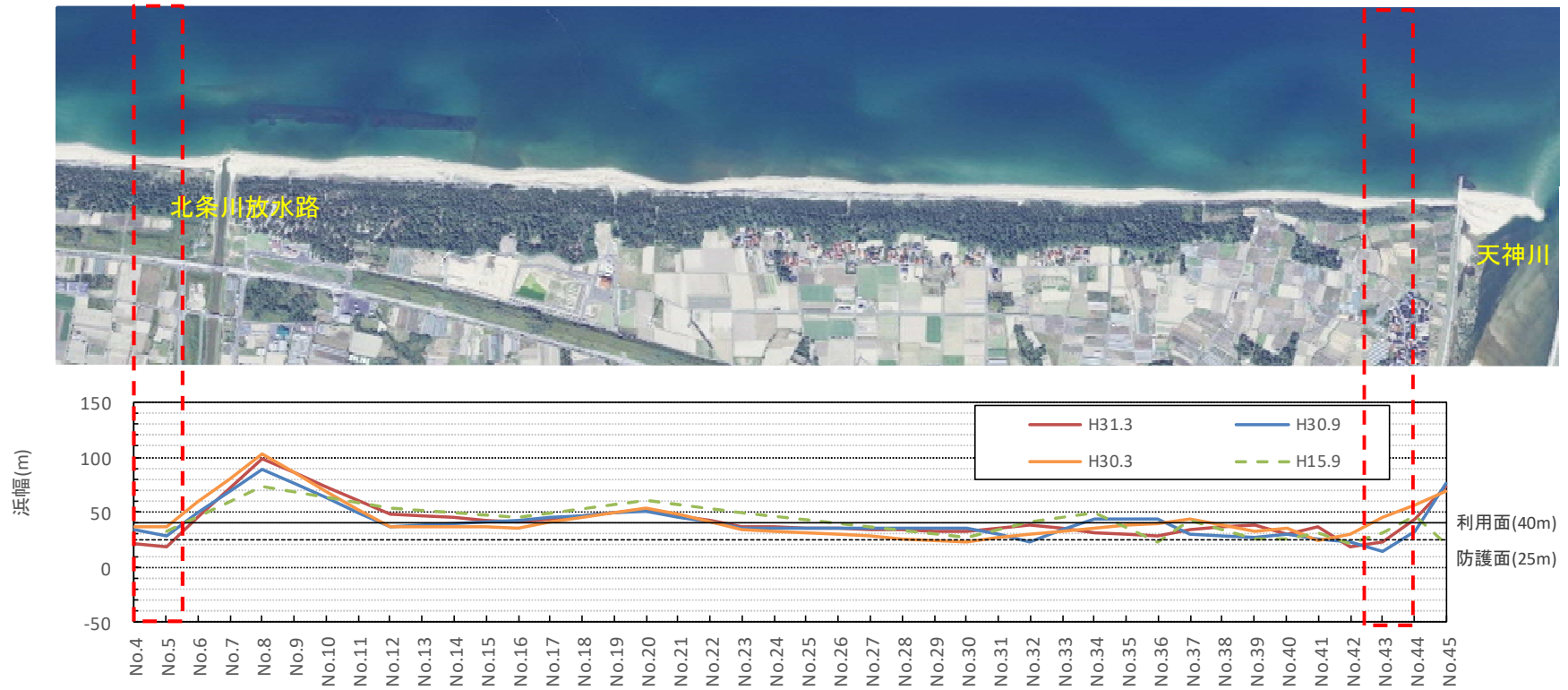


図 5-8 利用面、防護面の目安とする浜幅との比較



5-3-3. 由良川左岸地区（由良川河口左岸～逢束船揚場）

(1) 汀線变化分析

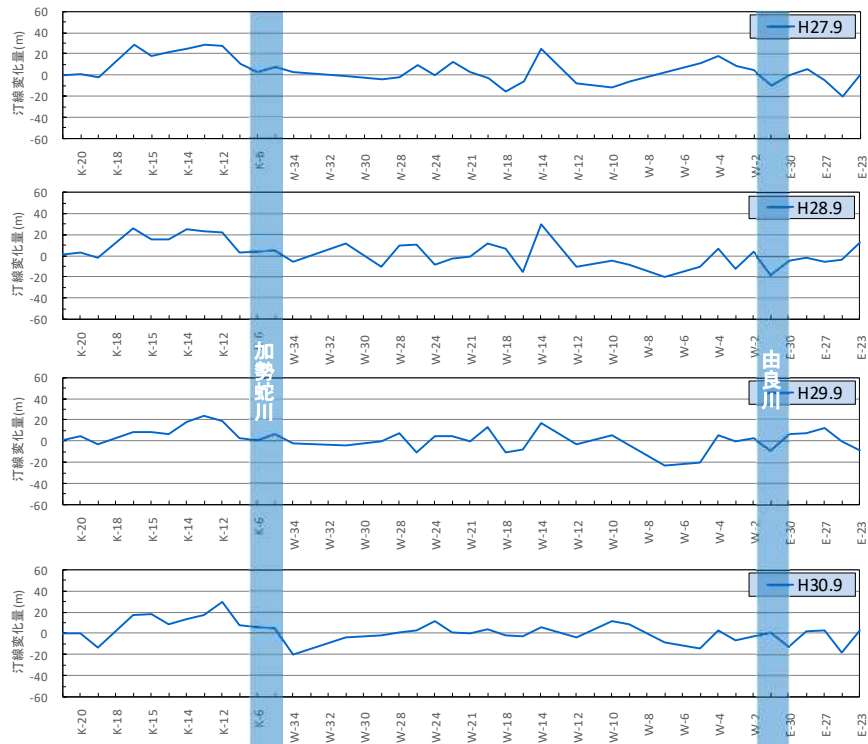


図 5-9 由良川左岸地区の近年の汀線变化図（平成 21 年 9 月基準）

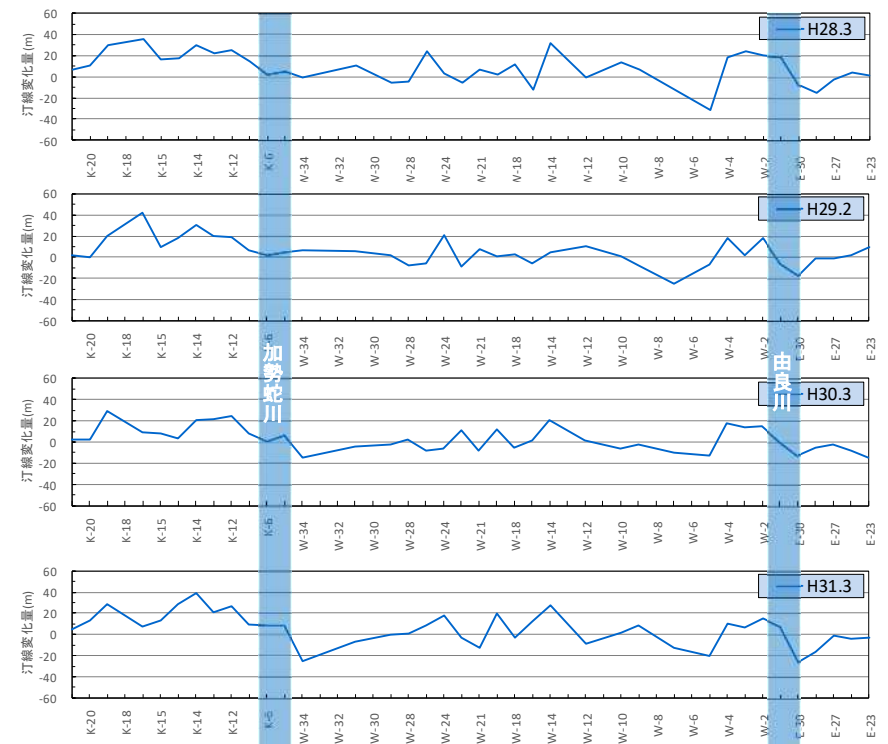


図 5-10 由良川左岸地区の近年の汀線变化図（平成 21 年 3 月基準）

- 空間的に汀線前進後退は生じているものの、全体としては侵食・堆積傾向はみられず、平衡に近い海岸であると考えられる。

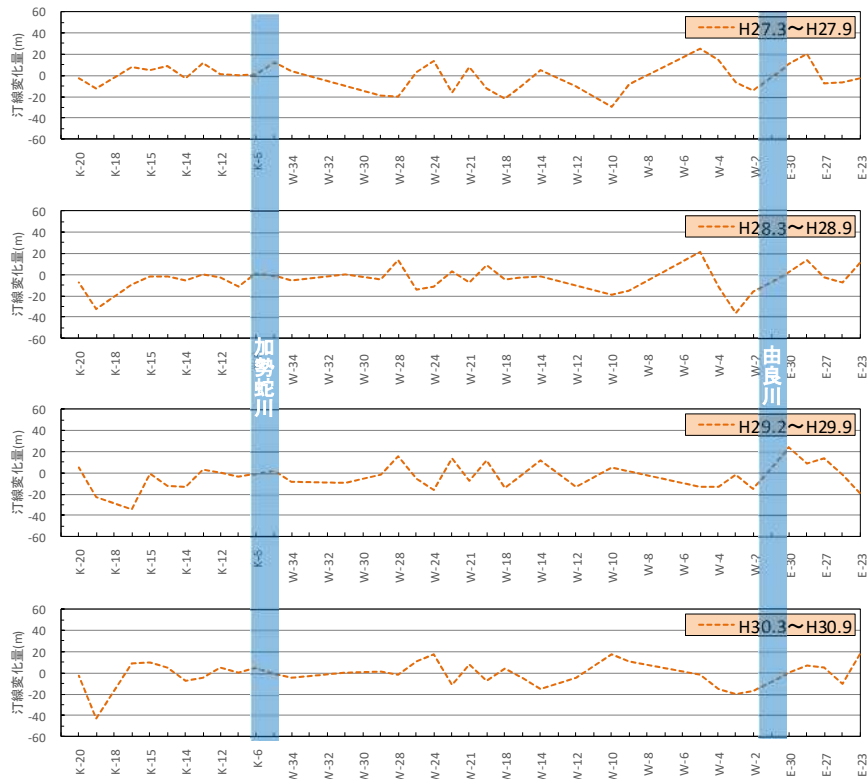


図 5-11 由良川左岸地区の近年の汀線変化図（春から秋の変化量：1年毎）

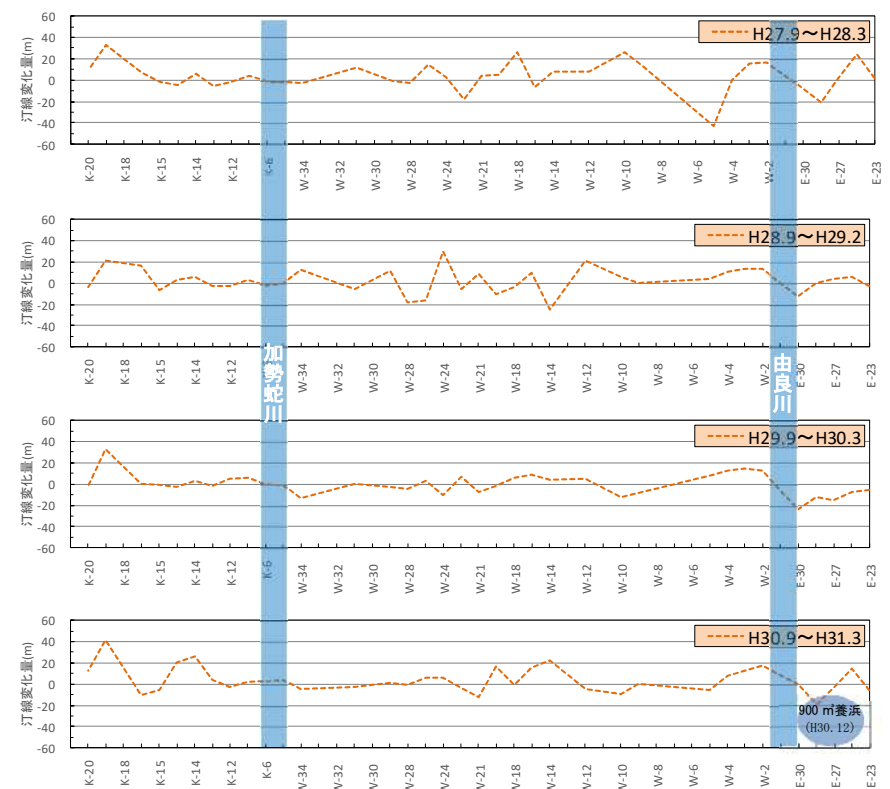


図 5-12 由良川左岸地区の近年の汀線変化図（秋から春の変化量：1年毎）

## (2) 浜幅分析

- 由良川河口周辺で防護浜幅を満足しない区間がある。
- 由良川の左岸側では天神川左岸の変化と同様な変化を示すことから、季節変動の影響を受けていると考えられる。後退時期は夏季であるため、夏季の台風時には河口左岸の侵食を監視するポイントにすることが望まれる。

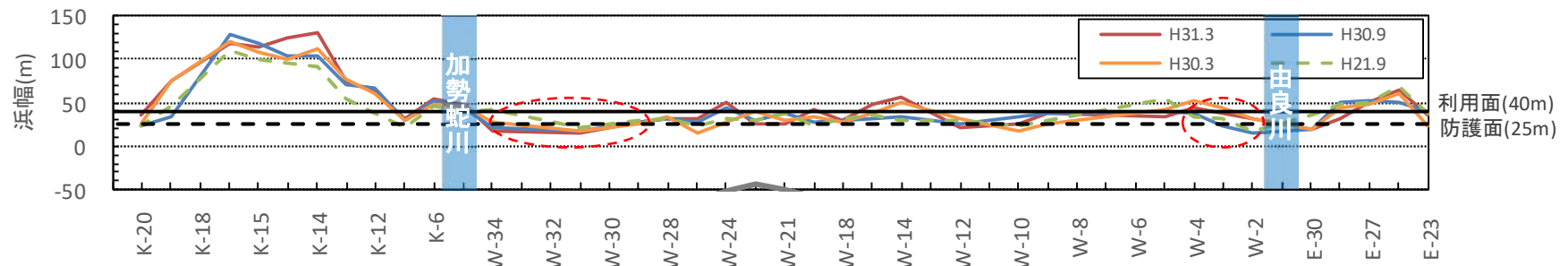
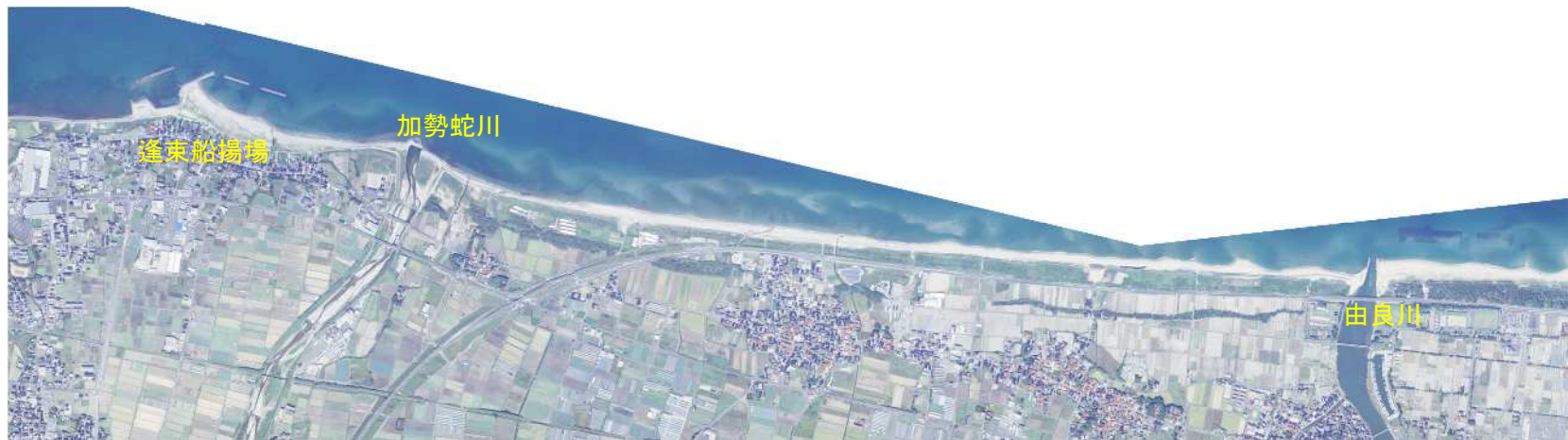


図 5-13 利用面、防護面の目安とする浜幅との比較